

国労ちば

国鉄労働組合
千葉地方本部
発行人 加藤 晃一
編集 高橋 弘幸
【電話】
JR 2930 FAX 2934
NTT 043(238)5963
FAX 043(238)5967

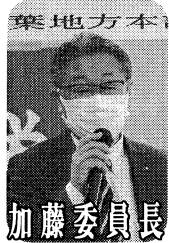
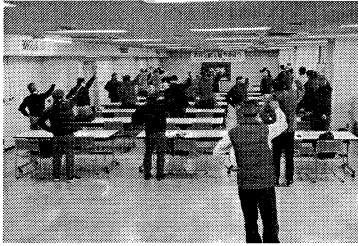
第183
回拡大
地方委員会号

機関整備を進め、労働運動の構築を

3月4日、第183回拡大地方委員会は新型コロナウイルス感染症防止対策を取り開催した。

越川副委員長の「ギリシヤで脱線事故が発生し多くの犠牲者が出た。国内でも川越線であわや衝突事故という大惨事になる事故が発生している。事故の表面・事象だけでなく、その背景にある労働・環境の実態を掴むことが重要だ」という開会あいさつで始まった。

議長に選出された蘇我運輸区分会の飯高委員は就任あいさつで



本地方委員 加藤委員長

「コロナの中で思うように活動できなかったことなど総括し運動につなげていきたい」と述べ、議事が進められた。

加藤執行委員長のあいさつの後、東日本本部の中谷執行委員のあいさつを受けた。議題に入り、協約・協定の締結、交渉経過、当面する活動方針が提案され、質疑・討論と議事を進め最後に北嶋書記長が集約し、出席者全体の拍手で当面する活動方針を採択した。

委員長あいさつ

ロシアによるウクライナへの軍事侵略から1年。北朝鮮のミサイル発射もあり「敵基地攻撃能力」を明記した安保関連三文書が閣議決定された。

2023春闘は、賃金が上がらなければ経済が好循環しないことから物価上昇率を上

千葉地本の平成採用組合員はそれぞれ労働運動の灯を職場から消さない取り組みに励んでいる。若い仲間の努力を大切に、国労運動を引き継いでいくことを確認したい。

活動方針

昨年9月23日に第76回定期大会を開催し確立した方針に基づき運動してきた。分会運動の強化に向け分会再編を提起し議論してきた。

木更津分会で千葉地

域住民の足を守る運動の取り組みでは、JR各社には「移動する権利」を遵守する義務がある。統一地方選挙は、今年4月に実施される。労働者・国民の権利を向上させる候補者を支援し、戦争への道を阻止するため取り組みを強化しなければならぬ。

大会以降の総括と、これからの取り組みについて活発な議論で方針案に肉付けしていた。執行委員会を代表してのあいさつとする。

東日本本部 あいさつ



委員執行 中谷

東日本本部は第40回拡大委員会を開催した。◆JR貨物会社は減収を強調し人件費の削減を押し進めている。JR東日本は、「非鉄道事業比率を将来的には5割にする」という施策が進められている。

千葉地本で運動展開した予備勤務の乗務員が駅の勤務を行うのは「ふさわしくない」と見解が出され、東日本本部としても検証を進め改善を求めていく。◆社員代表選挙は他労組との協力が多数だ。

報告されている。JESS職場でのパワハラ、脱退強要などJESS本社に対して抗議した。引き続き関係地本・地区本部と連携し取り組む。◆2023春闘において13,000円の統一要求を求めているが、JR各社は慎重な姿勢を崩していない。◆組織強化について、国労運動の継承発展に向け議論を進めなければならない。平成採用組合員がおかれている環境を理解する必要がある。国労が団結し職場からの取り組みを軸に、労働者の物の見方・考え方を示す責務を果たす必要がある。組織拡大に向けて動きを作ることが必要だ。

職場から運動を

JR貨物においても、2030年までの「JR貨物グループ経営ビジョン」を策定し完全民営化を目指している。経済の低迷とコロナ禍の影響が続く計画の下で修正となっている。職場では昼夜を問わない劣悪な労働実態にも関わらず低賃金に将

来展望を見いだせない。◆退職も後を絶たない。◆第183回拡大地方委員会の任務は将来展望を見据え、組織強化・拡大に組合員が一丸となり取り組むことにある。また、JR東日本・JR貨物とJR関連会社で働くすべての労働者の要求づくりと労働条件改善、安全・安定輸送確立、地域で闘う労働者への支援と地域共闘との連携、憲法改悪阻止をはじめとした闘いと、国民的課題・政治的課題と国労の闘いを一体のものとして職場・地域から運動を強化していくことにある。

討 論

◇秋山委員（佐倉）



社員代表選
挙に立候
補したの
はJES
S5管区
では成田管区のみ。
「もう年寄りはいいだ
らう」「若い人に任せ
たらどうか」という意
見がある中、立候補者
が労働者側につくのか、
会社側につくのか議論
してきた。分会再編に
ついて、エルダー雇用
を終える組合員が相次
ぎ、地本提起も仕方な
しと議論し、再編に動
いている。

◇鈴木委員（新小岩保）



エルダーで
東鉄工業
で働いて
いる。

船橋事業所では国労
組合員は1人退職し3
名、他はプロパー社員
という中で何もできな
い、流される。新作業
計画システムが導入さ
れたが不具合がないと
修正されない。6月を

目途に分会再編を進め
ている。

◇東平委員（千葉運）



職場に
春闘と労
働運動を
つなげて
いきたい。青年は住宅
ローンや教育費で生活
が苦しい。しかし、様々
な時間外の行動に追い
やられ、何も考えられ
ない状況に。様々なプ
ロジェクトを任せられ考
えながら乗務している
ため、乗務に集中しき
れない。川越線事故も
そのような状況の中で
起こったのでは？。憲
法改悪に対する国労の
護憲運動への立場が弱
いのは。平和・護憲
運動への積極的参加を。

◇石橋委員（木更津）



昨年11
月に分会再
編し、2月には12名が
参加し館山で旗開きを
開催した。なるべく集
まって議論・話す場作

り。社員代表選挙に
他労組の組合員と話し
合ってきたが、今年他
他労組が立候補しなかつ
たため信任投票に。会
社の都合の良い代表で
はなく労働者が推薦す
る代表を。プロパー社
員と話しながら運動し
ていかなければ。JES
SSの社員代表選挙の
在り方が問題。エルダー
終了後の再雇用の在り
方に問題がある。

◇鈴木委員（津田沼）



2月22
日 両国・
津田沼・
新浦安の
統合大会を開催した。

みどりの窓口閉鎖によ
り、改札窓を閉めて対
応。話せる指定席券売
機は聞く客を待たせて
いるといううわさを聞
くが実態は？。「オフビ
ク定期券」や「バリア
フリー運賃」導入など
短時間での説明で理解
しきれない。3月1日、
津田沼の遺失物取扱業
務がセントラル警備へ
移管され、パート社員
は西船橋駅の遺失担当
へ転勤。西船橋駅のメ
トロとJRの乗り換え
改札口は無人化でIC
カード利用者のみしか
通れない。

◇森田委員（千建）



「メイ
ブル（新
作業計画
システム）
線閉作業など」は見
切り発車だったので
ないか。今まではエク
セルで作ったものを送
るだけだったが、今は
全て「メイブル」の中
に入力しなければなら
ない。下請け会社社員
に労働強化が強いられ
ている。アスベストの
被害者は会社から「検
診で影が見えるから、
自分の時間で診察して
ください」と言われ、
今も自分の時間を通っ
ている。

◇十文字委員（幕電）



エルダー
になり1
年経過。
社員代表
は他労組の役員
が務めている。会社側
か、労働者側かで全
然違う。退職者の予定
が事前に分かるのに要
員補充しようとはしな
い。短日勤務に変更す
ると待ったがかかり、
他の部署の社員が兼務
で来る。エルダーが終
わった人を遠距離採用
しないで、近場の職場
に補充してほしい。

【組織強化・拡大】
職場に労働運動を残す。地本内
には平成採用組合員は4名。どう
やってかわるか、運動をどう継
承し引き継いでいくか、仲間づく
りから始めていく。何もやらない
と何も変わらない。皆で一步を踏
み出せば何かが変わる。
【労働条件改善】
社員数は35年で35,000人
以上減らされている。外注化が進
んでいる中、安全・安定輸送をど
う保っていくかが問題。譲れない
ものを議論し検証してほしい。
【地域住民の足を守る取り組み】
利用者の声に依拠した運動の強
化とともに働く場所を守る取り組
みと一体のものとして取組んでい
く。
【平和と民主主義を守る取り組み】
「反撃能力」とはどのようなか。
自民党政権の強行政治ですべて押
し切られている。護憲の闘いをは
じめ、みんなで一步でも進む運動
を取組んでいく。

◇坂口委員（電気）



春闘に
あたって
「ストラ
イキ行動
も辞さず行動しましよ
う」という本部、エリ
ア本部には「ストライ
キ体制をもって」とい
う構えをお願いしたい。
社員代表選挙では労働
者側の立候補が無かつ
たため会社が推薦する
立候補者の信任投票で
2名が不信任。コロナ
でテレワークが推奨さ
れてきたが、月4回ま
でで会社の認可も必要
と条件が変更された。
若い社員と大学時代の
奨学金の返済など議論
している。きちんと意
思を伝えることが重要
だ。

書記長集約



北嶋書記長

【組織強化・拡大】
職場に労働運動を残す。地本内
には平成採用組合員は4名。どう
やってかわるか、運動をどう継
承し引き継いでいくか、仲間づく
りから始めていく。何もやらない
と何も変わらない。皆で一步を踏
み出せば何かが変わる。
【労働条件改善】
社員数は35年で35,000人
以上減らされている。外注化が進
んでいる中、安全・安定輸送をど
う保っていくかが問題。譲れない
ものを議論し検証してほしい。
【地域住民の足を守る取り組み】
利用者の声に依拠した運動の強
化とともに働く場所を守る取り組
みと一体のものとして取組んでい
く。
【平和と民主主義を守る取り組み】
「反撃能力」とはどのようなか。
自民党政権の強行政治ですべて押
し切られている。護憲の闘いをは
じめ、みんなで一步でも進む運動
を取組んでいく。

答 弁

〈エリア本部〉

◇社員代表選挙での問
題は地本に集約して欲
しい。必要に応じてJES
SSと交渉していく。

◇エルダー終了した65
歳以降の雇用について、
遠距離通勤しか提案さ
れないなど改善を求め
ていく。

◇メイブルはチェック
機能など問題がある。

職協レベルで議論して
要求集約を。
〈地本〉

◇社員代表選挙は公職
選挙法に則った取り組
みが必要。社員代表選
挙に立候補するなど動
くことが重要。

◇ダイヤ改正後の要求
で交渉していく。

◇情報の共有化のツ
ールとしてラインなどの
活用なども検討してい
く。

2023メーデー前夜祭

講演：「日本の労働運動の再生―
いまこそ、労働組合の存在価値を考える」
講師：二瓶 勝久氏

日時：4月28日18時30分
場所：千葉市民会館3F特別会議室2
主催：国鉄闘争の経験と教訓を活かす千葉県共闘会議